

152	款・項・目	8・1・1	目名称	土木総務費		目の決算額	121,239,464		152
	事務事業名称	財産取得事業							
	事業コスト(千円)	10,301	【うち人件費 9,516 うち減価償却費 426 】						
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	道路								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 機能が拡充されています。								
評価 指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	寄附採納				13	／	10	件	
	用地買収				4	／	15	件	
						／			
実施 内容	1 狭あい道路等の解消 道幅の狭い生活道路の拡幅及び隅切り用地を確保することで、緊急車両等の通行が円滑にできるよう、良好な住環境の改善に努めました。 ※狭あい道路整備制度を新設（H27年度より）								
	2 道路用地の取得 市道等の拡幅整備に伴い、道路用地を地権者からの寄附又は買収により取得しました。取得後は市に所有権を移し、適正な管理を行いました。								
	3 道路内民地の解消 道路内に存在する個人名義の土地を、寄附又は買収により取得しました。取得後は市に所有権を移し、適正な管理を行いました。								
	寄附採納								
	年度	件数	筆数	面積（㎡）	うち狭あい道路用地				
					件数	筆数	面積（㎡）		
	R3	21	27	302.33	7	8	94.38		
	R4	17	24	705.19	7	13	250.90		
	R5	13	21	1,110.26	2	3	20.37		
	用地買収								
年度	件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）	うち狭あい道路用地				
					件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）	
R3	8	15	362.48	6,797,638	5	6	83.28	4,061,692	
R4	4	8	115.37	7,587,092	3	7	102.24	7,485,991	
R5	4	6	51.82	3,380,869	2	4	44.80	3,112,900	
事業の 評価	妥当性評価	道路法により市が管理することが定められているため、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	土地所有者の理解協力により、道路内民地の解消を促進することが出来ました。							
	効率性評価	狭あい道路の申出及び寄附採納願の受理後、迅速に処理を行い、交付金を最大限に活用し効率的な道路用地の取得が出来ました。							
事業費	3,949,272			左の財源内訳					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
				1,776,000	0	1,556,450 (基金1,556,450)	616,822		

主要事業No. 1 1 1

主要事業No. 1 1 1

153	款・項・目	8・1・1	目名称	土木総務費		目の決算額	121,239,464		153
	事務事業名称	財産管理事業							
	事業コスト(千円)	804,979		【うち人件費 33,745		うち減価償却費 743,341		】	
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）								
	道路及び水路								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 良好な状態が保たれています。								
評価指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	道路占用・使用許可、承認工事				1,000	／	970	件	
	道水路境界立会				257	／	300	件	
	廃道・水路の払下げ及び付替え				12	／	10	件	
実施内容	1 道路占用連絡協議会 道路占用連絡協議会を2回開催し、工事期間等の調整を行うことで道路工事の効率化を図りました。								
	2 道路占用・使用許可（道路法や条例に基づき適正に新規許可、更新事務を行いました。）								
	3 承認工事（工事の設計、計画について審査承認を行いました。）								
	4 道路台帳の加除、更新（道路台帳の加除、更新を行いました。）								
	5 道水路境界立会（現地立会を行い円滑に境界確定事務を進めました。）								
	6 廃道・水路の払下げ及び付替え（廃道・水路の払下げ及び付替え事務を行いました。）								
	7 車両制限令審査（制限値を超える車両通行の可否を審査しました。）								
	8 街区基準点の管理（測量に使用する街区基準点を適正に維持管理しました。）								
	各項目の実績								
	実施項目				R3	R4	R5		
	2 道路占用・使用許可件数				947	813	885		
	3 承認工事許可件数				83	112	115		
	小計				1,030	925	1,000		
	4 道路台帳の加除、更新件数				72	48	48		
	5 道水路境界立会件数				259	288	257		
7 車両制限令審査件数				141	172	211			
廃道・水路払下げ件数									
年度				件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）		
R3				16	26	1,223.68	26,368,760		
R4				15	28	2,651.06	54,668,804		
R5				12	26	1,975.79	25,374,121		
事業の評価	妥当性評価	道路法により市が管理することが定められているため、市で実施すべき事業です。							
	有効性評価	官民境界審査を行い、使用及び管理に必要な道水路用地の確保ができました。							
	効率性評価	道路占用連絡協議会を開催し、重複工事の解消及び適切な迂回路の調整を図りました。							
事業費	15,942,749			左の財源内訳					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
				0	0	0	15,942,749		

154	款・項・目	8・2・2	目名称	道路維持費		目の決算額	429,654,086		154
	事務事業名称	道路維持事業							
	事業コスト(千円)	407,959 【うち人件費 29,410 うち減価償却費 161,653 】							
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	道路、側溝、雨水管、排水ポンプ等								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
	機能が維持されています。								
評価 指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	要望等処理件数				2,225	／	2,000	件	
	舗装修繕面積				5,956	／	3,000	㎡	
	側溝改修延長				833	／	1,000	m	
実施 内容	1 修繕								
	道路パトロールや市民通報などにより把握した道路などの破損箇所について迅速に対応し、適正な維持管理を行いました。								
	対応件数								
			R3	R4	R5				
	作業員対応	道路補修	541	422	204				
		舗装修繕	264	167	408				
		草刈作業	275	156	348				
		浚渫作業	239	258	420				
	小計		1,319	1,003	1,380				
	業者対応	道路補修	243	280	248				
		舗装修繕	128	99	142				
		草刈作業	38	48	44				
		浚渫作業	36	57	70				
	小計		445	484	504				
	合計		1,764	1,487	1,884				
	市民からの要望等件数		1,360	1,199	1,385				
	2 委託								
	道路の草刈、側溝浚渫、地下道の路面清掃、駅エレベーターの清掃などの保守点検を行い、適正な維持管理を行いました。また、橋梁の点検を行いました。								
	(1) 草刈 及び (2) 側溝浚渫の対応件数								
			R3	R4	R5				
	定期的草刈委託(入札)		305	308	322				
	暗渠等浚渫委託(単契)		21	15	19				
	合計		326	323	341				
事業の 評価	妥当性評価	市民が安全に通行できる道路を確保するため、市道の維持管理は市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	迅速な道路の修繕に取り組み、安全かつ快適な道路環境の維持を図るとともに市民の要望に応えることができました。							
	効率性評価	道路支障の早期発見のため、市公式ウェブサイト等を通して情報提供を呼びかけ、迅速な修繕を行いました。							
事業費	429,654,086		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			32,885,000	0	80,256,274 (基金53,437,174)	316,512,812			

154	款・項・目	8・2・2	目名称	道路維持費	154
	事務事業名称	道路維持事業			
	事業コスト(千円)				
実施 内容	(3) 施設維持管理				
	ア 地下道などの清掃 (柗山、清蔵、堀越の各地下道、大府駅、共和駅)				
	イ 地下道ポンプ保守 (柗山、清蔵、堀越の各地下道)				
	ウ 地下道電気保守 (柗山地下道)				
	エ 駅エレベーター保守 (大府駅、共和駅)				
	オ 駅エレベーター警備 (大府駅、共和駅)				
	(4) 調査測量設計				
	ア 柗山地下道(アプローチ部) 等点検業務委託				
	イ 調査測量設計委託 桃山町雨水管老朽化に伴う改修(西地区)				
	3 工事				
	舗装修繕工事や側溝改修工事を行い、市民が安全に通行出来るよう適正な維持管理を行いました。				
	(1) 舗装修繕工事				
	ア 市道大府駅西線 (江端町：舗装2,220㎡) (R4年度から繰越し)				
	イ 市道療養所線 (森岡町：舗装 967㎡) (R4年度から繰越し)				
	ウ 市道三ツ屋上敷線 (共栄町：舗装 283㎡)				
	合計 舗装3,470㎡				
	(2) 側溝改良工事				
	ア 市道6047号線 (神田町：側溝109m 舗装 358㎡)				
	イ 市道2114号線 (中央町：側溝 88m 舗装 115㎡)				
	ウ 市道7031号線 (若草町：側溝110m 舗装 110㎡)				
	エ 市道1346号線 (共西町：側溝109m 舗装 152㎡)				
	オ 市道2134号線 (月見町：側溝117m 舗装 213㎡)				
	カ 市道4117号線 (北山町：側溝180m 舗装 303㎡)				
	キ 市道2165号線 (森岡町：側溝 74m 舗装 101㎡)				
	合計 側溝787m 舗装1,352㎡				
	(3) 雨水管老朽化に伴う改修工事				
	市道4210号線ほか (桃山町：舗装995㎡、雨水管224m)				
	(4) 狭あい道路整備工事				
	市道7039号線 (若草町：側溝 46m 舗装139㎡)				

155	款・項・目	8・2・3	目名称	道路新設改良費		目の決算額	188,388,415		155
	事務事業名称	補助幹線道路改良事業							
	事業コスト(千円)	64,094		【うち人件費 15,692		うち減価償却費 45,949		】	
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	幹線道路との接続道路及び地域の交通量の多い道路（補助幹線道路）								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
	既存道路の拡幅、歩道設置、道路の整備が進み、安全で良好な道路のネットワークが構築されています。								
評価 指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	補助幹線道路の改良済延長の割合				32.3	／	40.2	%	
	歩道整備延長				0	／	98	m	
						／			
実施 内容	1 市道共和駅東線（共和変電所～県道泉田共和線） 物件調査、用地買収、物件補償及び歩道設置工事を実施しました。 用地買収 4筆 95.68㎡、物件補償 1件 歩道設置工事（L=49m）（R6年度へ繰越し）								
	2 市道6006号線（横根平子土地区画整理関連） 道路改良工事（延長L=190m）を実施しました。								
	3 市道6007号線（横根平子土地区画整理関連） 道路改良工事（延長L=100m）を実施しました。								
	4 市道4178号線（鴨池周辺） 詳細設計、路線測量及び地質調査を実施しました。								
	5 市道3123号線（げんきの郷周辺） 道路改良工事（延長L=88m）を実施しました。								
	6 梶田町三丁目交差点 詳細設計、現地測量及び用地測量を実施しました。								
	7 月見及び名高跨線橋（JR東海道新幹線上） 月見跨線橋の補修工事を実施しました。 名高跨線橋の詳細設計を実施しました。（R6年度へ繰越し）								
事業の 評価	妥当性評価	市民が安心・安全に道路を利用することができる道路ネットワークの整備は、市民生活の基盤となるため、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	補助幹線道路の整備により、道路網が構築され、スムーズな移動が可能となりました。また、歩道整備により、歩行者の安心・安全を確保することができました。							
	効率性評価	国の交付金及び県の補助金を有効的に活用することや、県事業と連携して整備を進めることにより、効率的な整備促進を図ることができました。							
事業費	188,388,415		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他		一般財源		
			57,246,000	0	0		131,142,415		

主要事業No. 109

主要事業No. 109

156	款・項・目	8・3・2	目名称	河川維持費		目の決算額	147,502,384	156
	事務事業名称	河川維持事業						
	事業コスト(千円)	42,047	【うち人件費 4,492 うち減価償却費 2,457 】					
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）							
	河川施設等							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）							
	草刈・浚渫等の管理が行き届き、排水機能及び環境美化が維持されています。							
評価 指標	指標名		令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位		
	河川の草刈面積（単年度）		83,611	／	81,550	㎡		
				／				
				／				
実施 内容	河川の草刈りや施設等の修繕を実施することにより、良好な維持管理及び環境美化を図りました。							
	1 河川等の草刈（東工区、西工区ほか）							
	年度	草刈委託（定期）		単価契約（緊急）		合計面積		
		件数	面積	件数	面積			
	R3	15か所	79,680㎡	2か所	949㎡	80,629㎡		
	R4	15か所	82,178㎡	3か所	394㎡	82,572㎡		
	R5	15か所	82,868㎡	3か所	743㎡	83,611㎡		
	2 河川施設等の維持管理							
	(1) 修繕・浚渫等の件数							
	年度	修繕		浚渫、伐採等(単価契約)				
R3	6件		6件					
R4	6件		11件					
R5	3件		8件					
河川維持管理委託、工事								
河川伐採委託		半月川他	伐採工		59本			
河川浚渫委託		延命寺川	浚渫工		62㎡			
河川景観改良工事		石根川	舗装工		47㎡他			
(2) 苦情要望等の件数								
年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他				
R3	33件	1件	22件	10件				
R4	68件	0件	41件	27件				
R5	62件	1件	28件	33件				
3 河川水位監視システムの維持管理								
(1) 河川水位監視システム点検 水位計(8台)：年1回 河川監視カメラ(3台)：年1回								
事業の 評価	妥当性評価	治水機能の維持と環境の保持を図るため、河川施設等を適正に管理することが必要であり、市が主体で実施すべき事業です。						
	有効性評価	苦情要望が多い中、治水機能の維持と環境保持を図るため、必要性や緊急性を判断して、適切な作業を実施することができました。						
	効率性評価	積極的な現地確認により、適切な工法を選定して作業を実施できました。また、職員による定期的な点検や維持管理作業を行い、コスト削減を図ることができました。						
事業費	44,401,397		左の財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
			0	0	0	44,401,397		

157	款・項・目	8・3・2	目名称	河川維持費		目の決算額	147,502,384		157																				
	事務事業名称	水路等維持事業																											
	事業コスト(千円)	81,393	【うち人件費 11,358 うち減価償却費 2,652 】																										
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）																												
	水路施設等																												
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 草刈・浚渫等の管理が行き届き、排水機能及び環境美化が維持されています。																												
評価指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位																					
	水路等の草刈面積（単年度）				12,716	／	13,060	㎡																					
	水路等の防草対策面積（単年度）				101	／	500	㎡																					
						／																							
実施内容	水路、調整池、排水機場等の適切な管理を実施することで、良好な機能保全及び環境美化を図りました。																												
	1 水路等の草刈																												
	1回目3,027㎡ 2回目9,689㎡ 合計12,716㎡																												
	2 水路、調整池等の維持管理																												
	(1) 修繕・浚渫等の件数																												
	R5:修繕27件、浚渫・草刈・伐採等（単価契約）26件																												
	(2) 苦情要望等の件数																												
	<table><tr><td>年度</td><td>合計</td><td>浚渫</td><td>草刈伐採</td><td>その他</td></tr><tr><td>R3</td><td>229件</td><td>38件</td><td>122件</td><td>69件</td></tr><tr><td>R4</td><td>231件</td><td>36件</td><td>110件</td><td>85件</td></tr><tr><td>R5</td><td>233件</td><td>34件</td><td>111件</td><td>88件</td></tr></table>					年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他	R3	229件	38件	122件	69件	R4	231件	36件	110件	85件	R5	233件	34件	111件	88件				
	年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他																								
	R3	229件	38件	122件	69件																								
	R4	231件	36件	110件	85件																								
	R5	233件	34件	111件	88件																								
	(3) 水路等維持管理委託、工事																												
	ア 水路伐採委託 午池水路等 伐採 13本、除草・竹伐採 150㎡																												
	イ 水路浚渫委託 中原水路等 浚渫 23㎡																												
	ウ 調整池浚渫委託 長草新池調整池 浚渫 184㎡																												
	エ 水路改良工事 田面水路等 防草対策工 101㎡																												
オ 水路改修工事 籠染水路 底打ちコンクリート打設（単独土地改良事業） L=110.0m 砂原水路 底打ちコンクリート打設（単独土地改良事業） L=102.3m 梶田付替水路 越水防止対策 L=18.0m																													
カ 水路維持管理工事 揚田水路 水路復旧工 L=33m																													
3 排水機場の工事																													
ア 五ヶ村川第3排水機場 原動機オーバーホール（土地改良施設維持管理適正化事業） 1式																													
イ 島田排水機場 ストレーナー交換 2個																													
ウ 横根川排水機場 空気圧縮機器の交換（R6へ繰越し）																													
エ 五ヶ村川第2排水機場 電動機の潤滑油交換 1式 空気圧縮機のメーター交換 4個																													
事業の評価	妥当性評価	治水機能の維持と環境保全を図るため、水路、調整池、治水ため池及び排水機場を適正に管理することが必要であり、市が主体で実施すべき事業です。																											
	有効性評価	苦情要望が多い中、治水機能の維持と環境保全を図るため、必要性や緊急性を判断して、適切な作業を実施することができました。																											
	効率性評価	積極的な現地確認により、適切な工法を選定して作業を実施できました。また、職員による定期的な点検や維持管理作業を行い、コスト縮減を図ることができました。																											
事業費	103,100,987		左の財源内訳																										
			国県支出金	地方債	その他	一般財源																							
			14,041,000	0	18,044,931	71,015,056																							

主要事業No. 92

主要事業No. 92

	款・項・目	8・3・3	目名称	河川改修費	目の決算額	21,743,915																					
158	事務事業名称	総合排水計画事業					158																				
	事業コスト(千円)	2,606	【うち人件費 2,586 うち減価償却費 112 】																								
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）																										
	雨水貯留施設																										
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 雨水が貯留され、河川への流出が抑制されています。																										
評価 指標	指標名		令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位																					
	雨水流出抑制対策済量		218,163	／	180,624	m³																					
				／																							
				／																							
実施 内容	1 大府市総合排水事業促進会議 大府市総合排水計画の円滑な推進を図るため、関係各課と事業調整等を行いました。（1回開催）																										
	2 特定都市河川浸水被害対策法（河川新法） (1) 特定都市河川浸水被害対策法のもと愛知県及び流域12市町で総合治水を進めました。 (2) 雨水浸透阻害行為許可申請事務を行いました。（書類受付、開発者の指導、完了検査立会い）																										
	3 雨水貯留施設の整備 (1) 令和5年度 市で実施した雨水貯留浸透対策の実績																										
	<table><tr><td>種別</td><td>目標</td><td>実績</td><td>備考</td></tr><tr><td>各戸貯留</td><td>29m³</td><td>1m³</td><td>雨水貯留浸透施設設置補助</td></tr><tr><td>透水性舗装</td><td>153m³</td><td>279m³</td><td>市道養父森岡線、県道横根大府線、大府市民球場</td></tr><tr><td>貯留施設</td><td>97m³</td><td>97m³</td><td>大府市民球場</td></tr><tr><td>合計</td><td>279m³</td><td>377m³</td><td></td></tr></table>							種別	目標	実績	備考	各戸貯留	29m³	1m³	雨水貯留浸透施設設置補助	透水性舗装	153m³	279m³	市道養父森岡線、県道横根大府線、大府市民球場	貯留施設	97m³	97m³	大府市民球場	合計	279m³	377m³	
	種別	目標	実績	備考																							
	各戸貯留	29m³	1m³	雨水貯留浸透施設設置補助																							
	透水性舗装	153m³	279m³	市道養父森岡線、県道横根大府線、大府市民球場																							
	貯留施設	97m³	97m³	大府市民球場																							
	合計	279m³	377m³																								
	(2) 民間で実施した雨水貯留浸透対策の実績（河川新法ほか）																										
<table><tr><td></td><td>完了件数</td><td>対策量</td></tr><tr><td>R3</td><td>21件</td><td>2,364m³</td></tr><tr><td>R4</td><td>32件</td><td>2,891m³</td></tr><tr><td>R5</td><td>39件</td><td>25,208m³</td></tr></table>								完了件数	対策量	R3	21件	2,364m³	R4	32件	2,891m³	R5	39件	25,208m³									
	完了件数	対策量																									
R3	21件	2,364m³																									
R4	32件	2,891m³																									
R5	39件	25,208m³																									
(3) 年度別の雨水流出抑制対策済量																											
<table><tr><td>年度</td><td>市</td><td>民間</td><td>累計(市＋民間)</td></tr><tr><td>R3</td><td>8,507m³</td><td>2,364m³</td><td>186,801m³</td></tr><tr><td>R4</td><td>2,886m³</td><td>2,891m³</td><td>192,578m³</td></tr><tr><td>R5</td><td>377m³</td><td>25,208m³</td><td>218,163m³</td></tr></table>							年度	市	民間	累計(市＋民間)	R3	8,507m³	2,364m³	186,801m³	R4	2,886m³	2,891m³	192,578m³	R5	377m³	25,208m³	218,163m³					
年度	市	民間	累計(市＋民間)																								
R3	8,507m³	2,364m³	186,801m³																								
R4	2,886m³	2,891m³	192,578m³																								
R5	377m³	25,208m³	218,163m³																								
4 総合治水の市民への周知 広報掲載：5月号 ビジュアルボードフェア 7月14日～7月24日																											
事業の 評価	妥当性評価	行政、民間事業者、市民が協力して進めている雨水流出抑制対策において、総合排水計画の目標値の達成のためには、市が先導して推進していくべき事業です。																									
	有効性評価	雨水流出抑制対策を継続的に推進しており、着実に総合治水対策を進めることができます。また、民間事業者や市民に対してもこの取組のPRを行っています。																									
	効率性評価	行政だけでなく、民間事業者や市民に協力していただき、効率的に雨水流出抑制対策施設を整備することができます。																									
事業費	0		左の財源内訳																								
			国県支出金	地方債	その他	一般財源																					
			0	0	0	0																					

159	款・項・目	8・3・3	目名称	河川改修費		目の決算額	21,743,915		159
	事務事業名称	河川整備事業							
	事業コスト(千円)	22,223		【うち人件費 3,523		うち減価償却費 150		】	
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	未改修の準用河川、普通河川								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
	河川の計画的な整備が行われています。								
評価 指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	当該年度河川整備延長				0	／	0	m	
						／			
						／			
実施 内容	河川基本計画見直し								
	大府市河川基本計画のうち、半月川について計画を見直しました。								
	河川基本計画変更業務委託 半月川 L=2,619m								
事業の 評価	妥当性評価	河川整備については、市民の生命と財産を守る上で、市が主体となり実施すべき事業です。							
	有効性評価	河川整備を実施することで、治水安全度の向上を図ることができます。							
	効率性評価	河川整備を関連機関と連携して実施することで事業の効率化を図ります。							
事業費	18,672,995		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			0	0	18,370,000	302,995			

160	款・項・目	8・3・3	目名称	河川改修費		目の決算額	21,743,915		160
	事務事業名称	水路整備事業							
	事業コスト(千円)	11,168	【うち人件費 6,673		うち減価償却費 4,038	】			
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）								
	未改修及び断面不足の水路								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
順次、計画的に整備し、断面不足等の解消が行われています。									
評価指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	当該年度水路整備延長				0	／	0	m	
						／			
						／			
実施内容	1 湛水防除事業 横根川排水機場（県営事業）								
	横根川排水機場の建替えに伴う用地買収・建物補償費用の一部を負担しました。 負担金額 81,695,053円×1%=816,950円								
	2 水路機能維持のための用地取得								
	若草町地内水路用地取得面積 10.43㎡								
事業の評価	妥当性評価	水路整備については、市民の生命と財産を守る上で、市が主体となり実施すべき事業です。							
	有効性評価	水路等整備を実施することで、治水安全度の向上を図ることができます。							
	効率性評価	水路整備を関連機関と連携して実施することで事業の効率化を図ります。							
事業費	3,070,920		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			0	0	0	3,070,920			

161	款・項・目	8・4・1	目名称	都市計画総務費		目の決算額	120,919,359	161
	事務事業名称	都市計画推進事業						
	事業コスト(千円)	40,368	【うち人件費 14,354 うち減価償却費 1,264 】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 都市計画マスタープランに基づいたまちづくりを行うことにより、いつまでも住み続けたいと実感しています。							
評価指標	指標名		令和5年度実績値		／	令和5年度計画値		単位
	都市計画の決定及び変更件数累計		17		／	15		件
	市街化区域の面積		1,353.4		／	1,353.4		ha
					／			
実施内容	1 都市計画審議会を開催し、用途地域、生産緑地地区、地区計画等の都市計画の決定及び変更に関する事項について調査審議するとともに、都市計画閲覧システム（GIS）のデータ変更を行いました。 （1）都市計画の決定及び変更件数累計 17件 （令和2年度：6件 令和3年度：5件 令和4年度：5件 令和5年度：1件） （2）生産緑地地区面積 令和2年度：17.7ha 令和3年度：16.2ha 令和4年度：16.0ha 令和5年度：13.1ha （3）地区計画の都市計画決定面積 令和2年度：207.9ha 令和3年度：212.7ha 令和4年度：225.5ha 令和5年度：225.5ha							
	2 第4次大府市都市計画マスタープランに示す土地利用計画について、用途確定したものや産業地の拡張予定などの土地利用の精査を図るため、必要な事項の改訂を行いました。 3 都市計画法第6条の規定に基づき、都市計画基礎調査を行いました。 4 都市計画基本図を更新・作成するため、航空写真撮影を行いました。 5 大府市空家等対策計画に基づき、空家等の対策に取り組みました。 （1）大府市空家等対策協議会（2回）を開催し、空家等の対策について協議しました。 （2）空家対策個別相談会（1回）を開催しました。 （3）管理不全な空家等に起因して周辺に危険な状態が切迫している物件はありませんでしたが、防犯上の観点で周辺住民が不安を抱えている空家等1件について、緊急安全措置を行いました。 （4）空家等対策特別措置法の規定に基づき認定した特定空家等（累計5件）について、法令に基づく行政指導を講じた結果、5件中4件（令和4年度：1件 令和5年度：3件）は認定要件を解消しました。 （5）大府市老朽空家除却費補助金の活用により、老朽化等により保安上危険となる恐れのある空家の除却を促進しました。 （令和4年度：不良住宅2件、特定空家等1件 令和5年度：不良住宅4件、特定空家等1件） 6 平成30年3月策定の大府市空家等対策計画について、空家等の実態を調査し、調査結果を踏まえた改訂を行いました。 7 特定生産緑地への指定手続（公示1回、1筆（公示時点累計：274筆））を行いました。							
事業の評価	妥当性評価	良好な土地利用を推進していく上で、区域区分や都市施設などの都市計画決定及び変更手続は、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	将来の土地利用計画に基づき適正な土地利用が図られることは、都市計画マスタープランのまちづくり目標を達成する上で有効です。						
	効率性評価	土地所有者の協力や地域住民との合意形成を図ることで、土地利用の推進を効率的に行うことができました。						
事業費	24,573,899		左の財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
			3,697,000	0	0	20,876,899		

主要事業No. 104

主要事業No. 104

162	款・項・目	8・4・2	目名称	街路事業費		目の決算額	211,908,318		162	
	事務事業名称	幹線道路整備事業								
	事業コスト(千円)	64,878	【うち人件費 13,948 うち減価償却費 43,287 】							
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）									
	市及び県が管理する市内の幹線道路（都市計画道路）									
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 渋滞の解消、目的地への移動時間の短縮、交通事故の防止、歩行者の安全性向上、災害時の緊急輸送路の確保、広域的な車両の流動性の向上などができています。									
評価指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位		
	幹線道路の整備済延長の割合				26.8	／	37	%		
	歩道整備延長				85	／	670	m		
	国県への要望回数				20	／	20	回		
実施内容	1 県道横根大府線（基金22,260千円充当） 物件調査及び歩道設置工事（L=85m）を実施しました。 用地買収、物件補償を実施しました。（R4年度繰越分） 用地買収 3筆 27.49㎡、物件補償 1件									
	2 都市計画道路養父森岡線（基金35,659千円充当） (1) 1期（東海市境～石ヶ瀬川） 道路改良工事（L=260m）を実施しました。（R4年度繰越分） 橋台工事（1基）を実施しました。（R6年度へ繰越し） (2) 2期（石ヶ瀬川～主要地方道東浦名古屋線） 用地買収及び物件補償を実施しました。 用地買収 10筆 380㎡、物件補償 1件 (3) 3期（主要地方道東浦名古屋線～東浦町境） 予備設計、路線測量、用地測量及び地質調査を実施しました。（R6年度へ繰越し）									
	3 みちづくり基金 基金の積立てを行うとともに、幹線道路整備等のために取り崩しました。 積立金 1,054千円、取崩し 112,913千円									
	4 愛知県が施工する都市計画道路等の整備促進 (1) 大府東浦線：国道155号から市道ウド線までの区間で工事を実施しました。 (2) 名和大府線：田面交差点の用地買収（2件、33.73㎡）及び物件補償（1件）を実施しました。 (3) 荒尾大府線：東海市境から県道東海緑線までの区間で予備設計を実施しました。									
	事業の評価	妥当性評価	幹線道路は、まちづくりにおける都市基盤としての機能を担うため、県と市が協力して実施すべき事業です。							
		有効性評価	幹線道路の整備により道路網が構築され、交通の流れがスムーズになります。また、歩道の整備により、歩行者の安全が確保されます。							
		効率性評価	国の交付金及びみちづくり基金を有効に活用して効率的に事業を進めることができました。							
	事業費	211,908,318		左の財源内訳						
				国県支出金	地方債	その他	一般財源			
				70,950,700	0	131,525,959 (基金57,919,376)	9,431,659			

163	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費		目の決算額	455,995,447		163																																										
	事務事業名称	二ツ池セレクトナ運営事業																																																	
	事業コスト(千円)	33,723	【うち人件費 3,826 うち減価償却費 4,764 】																																																
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）																																																		
	市民																																																		
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 二ツ池セレクトナを利用して、大府市の自然を見て、触れて、学ぶ機会を持てるようにします。																																																		
評価 指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位																																											
	二ツ池セレクトナ入場者数				37,743	／	25,000	人																																											
	セレクトナ学習室利用件数				86	／	120	件																																											
	講座参加者数				8,200	／	3,500	人																																											
実施 内容	1 ニツ池セレクトナ及び二ツ池公園グラウンドの効率的な運営及び適正な維持管理 指定管理者の創意工夫とノウハウを活用して、市民が自然と触れ合い学ぶことができる学習の機会を提供するとともに、施設の効率的かつ適切な維持管理・運営を図りました。 (指定管理期間：令和4年度～令和6年度)																																																		
	2 イベントや講座などの開催 多くの市民が自然と触れ合い体験できる場として、イベントや自然観察会などの講座を実施しました。																																																		
	<table><tr><td></td><td colspan="2">R3</td><td colspan="2">R4</td><td colspan="2">R5</td></tr><tr><td>ニツ池セレクトナ入場者数</td><td colspan="2">37,725人</td><td colspan="2">35,508人</td><td colspan="2">37,743人</td></tr><tr><td>セレクトナ学習室利用件数</td><td>89件</td><td>1,423人</td><td>112件</td><td>1,670人</td><td>86件</td><td>1,548人</td></tr><tr><td>デイキャンプ利用数</td><td>27件</td><td>573人</td><td>58件</td><td>1,608人</td><td>51件</td><td>2,142人</td></tr><tr><td>講座参加者数</td><td>85回</td><td>4,331人</td><td>89回</td><td>5,064人</td><td>75回</td><td>8,200人</td></tr><tr><td>グラウンド利用者数</td><td>328件</td><td>6,917人</td><td>295件</td><td>6,622人</td><td>275件</td><td>6,898人</td></tr></table>										R3		R4		R5		ニツ池セレクトナ入場者数	37,725人		35,508人		37,743人		セレクトナ学習室利用件数	89件	1,423人	112件	1,670人	86件	1,548人	デイキャンプ利用数	27件	573人	58件	1,608人	51件	2,142人	講座参加者数	85回	4,331人	89回	5,064人	75回	8,200人	グラウンド利用者数	328件	6,917人	295件	6,622人	275件	6,898人
		R3		R4		R5																																													
	ニツ池セレクトナ入場者数	37,725人		35,508人		37,743人																																													
	セレクトナ学習室利用件数	89件	1,423人	112件	1,670人	86件	1,548人																																												
	デイキャンプ利用数	27件	573人	58件	1,608人	51件	2,142人																																												
	講座参加者数	85回	4,331人	89回	5,064人	75回	8,200人																																												
	グラウンド利用者数	328件	6,917人	295件	6,622人	275件	6,898人																																												
	3 情報の発信 広報おおぶ、市公式ウェブサイト、フリーペーパー、地域新聞及び公民館等へのチラシ・パンフレット配布により、積極的に情報発信を行いました。																																																		
事業の 評価	妥当性評価	水と緑に恵まれた環境の中で、市民に自然体験学習の機会を提供する施設の運営は、市が実施すべき事業です。																																																	
	有効性評価	講座参加者のアンケート結果での満足度は非常に高く、事業の効果は上がっています。																																																	
	効率性評価	施設の運営に指定管理者制度を導入したことで、様々な工夫により学習室などの利用者数が大きく増加し、効果的な施設運営を効率的に行うことができています。																																																	
事業費	25,189,257		左の財源内訳																																																
			国県支出金	地方債	その他		一般財源																																												
			0	0	0		25,189,257																																												

164	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費		目の決算額	455,995,447	164
	事務事業名称	公園整備事業						
	事業コスト(千円)	48,933	【うち人件費 3,391 うち減価償却費 44,148 】					
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）							
	市民							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 憩いの場となる公園を整備することで、安全で快適な時間を過ごしています。							
評価 指標	指標名			令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	都市公園面積			98.9	／	99.3	ha	
					／			
					／			
実施 内容	1 北山1号公園整備設計委託 ・1号公園の設計委託を行いました。 ・近隣住民等により構成されたワークショップを3回開催しました。							
	2 ニツ池公園整備事業（あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金） ・ニツ池公園の区域を拡張して整備するための用地買収及び物件補償（建物）を行いました。 A=1417.89㎡、建物移転1件（R6年度へ繰越し）							
	3 公園整備工事 ・江端公園の広場利用者のための駐車場を整備しました。 広場利用者用9台、思いやり駐車場1台							
事業の 評価	妥当性評価	快適で便利な暮らしの基盤づくりとして、市民の憩いの場である公園を整備することは、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	公園や親水空間の整備内容について、住民参加のワークショップ形式によって計画づくりをすることにより、周辺住民の意見調整が行われました。						
	効率性評価	地元住民の十分な理解と協力のもと、事業が効率的に進められ良好で魅力的な住環境を整備することができます。						
事業費	148,785,651		左の財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
			20,000,000	0	0	128,785,651		

165	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費		目の決算額	455,995,447		165
	事務事業名称	公園等施設管理事業							
	事業コスト(千円)	339,208		【うち人件費 8,117		うち減価償却費 146,604		】	
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 公園施設を適切に維持管理することで身近に緑が感じられ、安全で快適に過ごすことができる空間として、市民の満足度が向上しています。								
評価指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	公園管理面積				98.9	／	99.1	ha	
						／			
						／			
実施内容	1 公園の適切な維持管理 (1) ごみ拾い、トイレ清掃、除草などを実施しました。（環境維持） (2) 公園遊具の保守点検を実施しました。（安全性の確保） (3) 水景施設の保守点検を実施しました。（安定稼働の確保） (4) 公園施設や遊具の修繕を実施しました。（適切な維持管理） ア 四阿支柱取替（石亀公園） イ 公園照明灯建替（海陸庵公園、丸山公園、若草公園） ウ トイレ洋式化（大府みどり公園第2駐車場、桃陵荘） 2 公園施設長寿命化対策工事（社会資本整備総合交付金） 公園施設長寿命化計画に基づき施設の改修を実施しました。 (1) 大府みどり公園受水槽及び第1駐車場 3 公園維持管理工事 (1) 大府みどり公園高圧ケーブル改修（落雷による損傷復旧） (2) 江端公園広場フェンス改修（施設の老朽化） 4 公園を活用したイベントの開催 (1) 大府みどり公園でイベントを開催しました。 ア ソロキャンプ イ パフォーマンス・プレイス ウ 野外クラシックコンサート (2) ニツ池公園でイベントを開催しました。 ア さくらまつり								
事業の評価	妥当性評価	市民の憩いの場である公園について、公園施設等の状況を正確に把握し、日常管理や修繕等を行うことは、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	定期的に公園の維持管理を行うとともに、市民の要望等に対して迅速に対応することにより、安全で安心して利用できる市民の憩いの場を提供することができました。							
	効率性評価	職員や委託業者による巡回や遊具点検の他、市民団体などからの報告によって、施設の劣化状況を正確に把握することにより、効率的に修繕を実施しました。							
事業費	235,799,674		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			15,000,000	0	16,178,547	204,621,127			

主要事業No. 117

主要事業No. 117

166	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費		目の決算額	315,801,087		166	
	事務事業名称	緑化推進事業								
	事業コスト(千円)	23,903		【うち人件費 6,905		うち減価償却費 2,553		】		
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）									
	市民									
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）									
緑を増やすことにより、潤いと安らぎを感じています。										
評価指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位		
	緑地面積				61,182	／	61,182	㎡		
	保全地区面積				3.93	／	3.96	ha		
						／				
実施内容	1 民有地の緑化推進として愛知県都市緑化基金を活用し、公有地や民有地の緑化を充実させることにより緑あふれるまちづくりを推進しました。									
	事業名称		R3		R4		R5			
	信託木配布		4種 56本		4種 181本		4種 286本			
	保全地区		13か所 3.96ha		13か所 3.96ha		12か所 3.93ha			
	保存樹木		107本		104本		95本			
	花いっぱい運動		128か所 4回植替え		128か所 4回植替え		122か所 4回植替え			
	2 緑の募金を実施し、緑化に対する市民意識の高揚を図りました。（4月、5月）									
	3 みどりの少年団の活動を通して、市内の小学生に緑化の大切さを理解してもらう機会を提供しました。（令和5年度 吉田小学校、石ヶ瀬小学校）									
	知多地域のみどりの少年団員と親睦を図るため、知多地域みどりの少年団交歓会に参加しました。									
	4 愛知県が実施するあいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金を活用し、市内の緑化を推進しました。									
(1) 市民や保育園児が参加の植樹祭や児童生徒による公共施設の緑化整備を行いました。										
①養父森岡線 ②吉田小学校 ③大府北中学校										
(2) 基準を満たした優良な民有地緑化の支援として交付金を交付しました。										
5 緑化推進委員会を開催（3回）し、緑の基本計画の進捗管理、緑化の推進及び緑の保全について協議しました。										
事業の評価	妥当性評価	緑あふれるまちづくりを進めるため、緑化推進や緑の保全を図るとともに、市民が緑に親しむことのできる機会を提供することは、市が実施すべき事業です。								
	有効性評価	民有地の緑化とともに、市民参加による公有地の緑化を行うことにより、多くの市民に緑とのふれあいの機会を提供し、緑化の推進を図ることができました。								
	効率性評価	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業及び愛知県都市緑化基金を活用し、効率的に事業を実施することができました。								
事業費	17,259,660		左の財源内訳							
			国県支出金	地方債	その他	一般財源				
			7,298,000	0	390,000	9,571,660				

167	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費		目の決算額	315,801,087		167
	事務事業名称	緑道整備事業							
	事業コスト(千円)	22,308		【うち人件費 5,007 うち減価償却費 17,187 】					
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	市民								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 歩行者などが安全に緑を感じながら移動することができています。								
評価 指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	緑道延長				20,781	／	20,490	m	
						／			
						／			
実施 内容	1 石ヶ瀬川緑道整備 (1) 石ヶ瀬保育園～都市計画道路大府東浦線取付付近 河川管理用道路を活用して緑道を整備しました。（R4年度から繰越し） ・左岸 幅員 7.5m（車道4.0m、緑道3.5m）、延長 377m、照明 16基他 (2) 橋梁上部余剰地活用 県道橋梁上部余剰地を活用するため、橋の高欄と休憩スペースを整備しました。 ア 橋の高欄 延長 24m イ 休憩スペース アスファルト舗装 206㎡、カラー塗布 194㎡他 ベンチ2基（R6年度へ繰越し） 緑道延長（合計）R3：20,404m R4：20,404m R5：20,781m								
事業の 評価	妥当性評価	河川管理用道路において、市民が水と緑に親しみながら安全に散策できる緑道を整備することは、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	緑道を整備することにより、安全に散策できる歩道ネットワークの形成を図ることができました。							
	効率性評価	河川用地を活用することにより、新たに用地を取得することなく、効率的に緑道を整備することができました。							
事業費	58,463,000		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			0	0	51,840,000	6,623,000			

主要事業No. 115

主要事業No. 115

168	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費		目の決算額	315,801,087	168
	事務事業名称	市民緑化推進事業						
	事業コスト(千円)	13,221	【うち人件費 8,944 うち減価償却費 383 】					
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）							
	市民							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 多くの市民が緑の保全及び緑化の推進に参加することで、緑や花に親しみと充実感を得ています。							
評価 指標	指標名			令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	民有地緑化制度を活用した植栽本数			4,187	／	2,000	本	
					／			
					／			
実施 内容	市民との協働による緑と花のあふれるまちづくりを推進するため、大府市緑化基金を活用して、各種事業を実施しました。							
	1 提案型緑花推進事業							
	市民団体などが提案する緑花事業計画に基づく緑化事業							
	R4年度から各部門を設けて実施しました。							
	R3：3団体							
	R4：10団体（上級3団体、中級4団体、はじめての一步3団体）							
	R5：10団体（上級3団体、中級5団体、はじめての一步2団体）							
	2 民有地緑化制度等を活用した植栽							
	(1) 民有地緑化制度（あいち森と緑づくり事業）を活用した植栽							
	R3：415本 R4：1,881本 R5：3,649本							
(2) 民有地緑化のため入学や新築など10項目の記念樹や信託木を配布する事業								
R3：285本 R4：294本 R5：538本								
3 学校シンボルツリー・シンボルフラワー事業								
市内全小中学校の児童生徒に、緑の大切さや学校への愛着心を育んでもらうための学校緑化を行いました。								
4 市民の森づくり事業								
市民の森実行委員会及びニツ池セレクトナと連携して、ニツ池公園の緑の保全を行いました。								
5 緑のまちづくり事業								
公園緑地などに設置の花壇や緑地などを市民と協働で管理し、潤いと安らぎの空間を提供しました。								
6 シビックガーデンコンテスト事業								
緑と花にあふれるまちづくりを啓発するため、緑化コンクールを開催しました。								
R3：25件 R4：29件 R5：22件								
事業の 評価	妥当性評価	市民との協働による緑あふれるまちづくりを進めるため、市民団体等の緑化推進に関する取組を幅広く支援することは、市が実施すべき事業です。						
	有効性評価	市民団体等の取組に対し、効果的に支援することにより、緑化に関する意識を多くの市民や地域に浸透させることができました。						
	効率性評価	緑化基金を活用し、市民との協働により、効果の高い緑化推進事業を効率的に実施することができました。						
事業費	4,208,466		左の財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
			0	0	4,206,511 (基金4,190,000)	1,955		

169	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費		目の決算額	315,801,087	169
	事務事業名称	緑花維持管理事業						
	事業コスト(千円)	189,250	【うち人件費 7,066 うち減価償却費 7,489 】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 緑地等の適切な維持管理を行い、身近に緑が感じられる空間として、安全で快適に過ごすことができることにより、緑化などに対する市民の満足度が向上しています。							
評価指標	指標名			令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	竹林の保全箇所数			1	／	1	箇所	
	アサギマダラの飛来数			13	／	13	頭	
					／			
実施内容	1 緑地等の維持管理 公園、緑地、緑道などを適切に維持管理し、良好な状態に保ちました。 (1) 公園、緑地、緑道の草刈り・清掃等を実施しました。 (2) 街路樹、公園、緑地等へサクラ、ツツジ等の補植をしました。							
	2 桃山地区桜保全事業 桃山地区の桜保全のため、平成29年度に実施した桜の診断結果を踏まえ、枯枝撤去や薬剤注入、防腐剤塗布など樹木の保全を行いました。							
	3 竹林の小径（こみち）整備（あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金） 矢戸川緑道に隣接する竹林の小径の整備を行いました。 駐車場 11台（内ふれあい駐車場1台）、竹チップ舗装 81m、竹穂垣 137m、フットライト16基、休憩棟1棟							
	4 フジバカマ植栽（二ツ池公園） (1) 市民パートナーシップによりフジバカマの花壇を手入れすることで、アサギマダラが飛来しました。 (2) フジバカマ植栽のエリアを拡張しました。							
	5 鞍流瀬川モデル地区（新橋～江端大橋）の維持管理 新橋から江端大橋までの鞍流瀬川沿いの区間において、河川を活かしたまちづくりのモデル地区を目指し、キッチンカーイベントを開催しました。また、堤防法面の草刈り・清掃等の維持管理を行いました。 草刈り面積 27,000㎡							
	6 桜守養成講座 桜の維持管理について、市民団体と協働で進めていくことにあたり、維持管理のノウハウを学ぶための桜守養成講座を3回実施しました。							
事業の評価	妥当性評価	緑化した市有地を維持管理することは、地域の意見を聞きながら協働で実施すべき事業です。						
	有効性評価	市民と協働で推進することにより、市民の緑化意識の醸成や市民参加による緑のまちづくりの推進を図ることができました。						
	効率性評価	市民との協働により、効果の高い緑花推進事業を効率的に実施することができました。						
事業費	235,869,961		左の財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
			19,405,000	0	100,000	216,364,961		

主要事業No. 119

主要事業No. 119

170	款・項・目	8・4・6	目名称	土地区画整理事業費		目の決算額	355,718,465		170
	事務事業名称	土地区画整理事業							
	事業コスト(千円)	375,604	【うち人件費 18,950 うち減価償却費 717 】						
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	現在施行中の土地区画整理組合								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
	円滑で健全な組合運営がなされ、事業計画に定めるとおり事業が完了しています。								
評価 指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	北山地区・横根平子地区の土地区画整理事業の整備率				56.3	／	88.1	%	
	北山地区・横根平子地区の人口達成率				2.5	／	7.6	%	
実施 内容	土地区画整理事業の事業主体である組合に対し、事業計画に基づき円滑で健全に運営がされるよう指導及び補助金の交付を行いました。								
	(1) 大府横根平子地区【施行期間：平成28～令和9年度、面積：9.0ha、事業進捗率：74.7%】 組合が実施する造成工事や、水路及び道路の築造工事などについて指導を行い、実施事業に対し補助金を交付しました。 土地区画整理事業補助金 23,000,000円（128,520,000円はR6年度へ繰越し）								
	(2) 大府北山地区【施行期間：平成30～令和8年度、面積：23.7ha、事業進捗率：37.8%】 組合が実施する土砂搬入工事、調整池や水路の築造工事、物件移転補償などについて指導を行い、実施事業に対し補助金などを交付しました。 土地区画整理事業補助金 114,000,000円（171,000,000円はR6年度へ繰越し） （うち、1/3の38,000,000円は都市再生区画整理事業費補助金） （173,514,000円はR4年度から繰越し） 国庫補助金市負担分 45,037,500円（補助対象事業費180,150,000円のうち市1/4負担） （当初額75,000,000円、内示率が下がったことにより減額 29,962,500円）								
事業の 評価	妥当性評価	住環境の整備を推進する事業であり、組合の円滑で健全な運営を支援することは、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	優良宅地造成とともに、道路、緑地等を整備することにより、良好な住環境の実現に向けて着実に効果が上がりました。							
	効率性評価	市と組合が一体となって整備を進め、効率的にまちづくりを推進していくことができました。							
事業費	355,718,465		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			95,838,000	178,000,000	20,676,000	61,204,465			

171	款・項・目	8・4・7	目名称	建築開発費		目の決算額	785,846		171
	事務事業名称	宅地開発指導事業							
	事業コスト(千円)	23,274		【うち人件費 21,432		うち減価償却費 811		】	
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）								
	事業者及び工事施行者等								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
一定の基準をもって適正に指導するとともに、応分の負担を要請することにより、公共施設等及び良好な住環境の整備が行われています。									
評価指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	開発等事業の手続件数				33	／	30	件	
	事前協議申請件数				25	／	20	件	
						／			
実施内容	1 建築、開発行政の事務								
	限定特定行政庁、事務処理市として建築確認や都市計画法等の審査を行うとともに、市民相談への速やかな対応・体制をつくりました。								
	(1) 申請等実績								
			R3	R4	R5				
	確認申請	四号建築物	7件	2件	1件				
		工作物	0件	0件	0件				
	都市計画法許可		93件	91件	112件				
	宅地造成等規制法許可		31件	25件	25件				
	開発等事業の手続件数		36件	40件	33件				
	事前協議（条例手続）		21件	19件	25件				
	宅地開発行為等調整会議		1回	0回	1回				
	建設リサイクル法届出		167件	171件	189件				
	省エネ法届出		1件	0件	3件				
	地区計画区域内整備計画届出		61件	42件	40件				
	優良宅地認定		0件	0件	0件				
	長期優良住宅認定		162件	143件	168件				
	低炭素建築物認定		11件	12件	6件				
	研修会、協議会等出席		5回	18回	20回				
	(2) 監視等実績								
			R3	R4	R5				
	建築物等パトロール		6回	5回	3回				
	造成工事等パトロール		3回	1回	1回				
建設リサイクルパトロール		0回	1回	1回					
事業の評価	妥当性評価	建築や開発行為に対する指導・監督という観点から市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	宅地開発等を行う者に対して、一定の基準を持って指導することは、公共公益施設及び良好な住環境の整備促進に有効です。							
	効率性評価	関係各課への回覧を電子化し審査の効率化を図ることで審査期間の短縮に努めました。							
事業費	785,846		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			24,222	0	0	761,624			

主要事業No. 106

主要事業No. 106

172	款・項・目	8・4・8	目名称	中心市街地整備費		目の決算額	19,975,300		172
	事務事業名称	中心市街地整備事業							
	事業コスト(千円)	34,038	【うち人件費 23,232 うち減価償却費 992 】						
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	市民、駅利用者								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
利用者及び地域の人たちが訪れたいと実感しています。									
評価 指標	指標名				令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位	
	駅周辺まちづくり検討会議等の開催回数				8	／	8	回	
						／			
						／			
実施 内容	1 大府駅周辺のまちづくり								
	(1) 大府駅周辺まちづくり検討会議の開催及び計画の策定								
	大府駅周辺のまちづくりを検討するため、地元商業者、大学、企業の関係者等を委員とする「大府駅周辺まちづくり検討会議」を2回開催し、駅周辺の課題分析やまちづくりの方向性などを取りまとめ、「大府駅周辺まちづくり計画」を策定し、9月に公表しました。								
	(2) 大府駅周辺まちづくり検討業務								
	大府駅北東部地区の施設検討について、過年度の検討資料やヒアリング結果を基に、事業組合せ（子育て支援施設、駐車場、駐輪場、共同住宅、商業施設）や事業手法など事業実現性の高い官民連携事業となっているかの確認及び検証を行いました。								
	(3) 大府駅東口 多目的スペースの整備								
	令和4年度にJRとの用地交換により取得した大府駅東口の南側の敷地において、市民が憩い、集うことができる多目的スペースを整備し、11月より利用を開始しました。この多目的スペースでは、駅前イルミネーションの点灯式を始め、マルシェの会場などとして利用しました。								
	2 共和駅周辺まちづくり								
	(1) 共和駅周辺まちづくり検討会議の開催及び計画の策定								
	共和駅周辺のまちづくりを検討するため、地元商業者、地域団体、企業の関係者等を委員とする「共和駅周辺まちづくり検討会議」を2回開催し、駅周辺の課題分析やまちづくりの方向性などを取りまとめ、「共和駅周辺まちづくり計画」を策定し、9月に公表しました。								
事業の 評価	妥当性評価	まちづくりを進めるうえで、地域住民、事業者、市が一体となって協力していくことが重要です。そのまとめ役として市が先導していくことが必要であるため、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	共和駅周辺では、各イベントの準備や運営など地域の皆様と一緒に進めています。このように地域での繋がりは、まちづくりに必要な人材の育成や確保には有効です。							
	効率性評価	事業者へのヒアリングなど職員でできるものと、概略設計などの専門的な作業を住み分けし、経費の削減に取り組むことができました。							
事業費	19,969,400				左の財源内訳				
					国県支出金	地方債	その他	一般財源	
					0	0	0	19,969,400	

173	款・項・目	8・5・1	目名称	住宅管理費		目の決算額	117,016,320		173																											
	事務事業名称	市営住宅管理・整備事業																																		
	事業コスト(千円)	119,445【うち人件費 6,894 うち減価償却費 73,282】																																		
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市営住宅																																			
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 高齢者・障がい者等に配慮した、利用しやすく良好な魅力ある市営住宅の改善を行い、適切に管理されています。																																			
評価指標	指標名			令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位																													
	入居募集戸数			13	／	10	戸																													
	建築物保全に関する住宅工事・修繕件数			83	／	80	件																													
					／																															
実施内容	市営住宅管理戸数292戸（うち特定公共賃貸住宅10戸）																																			
	1 施設改修工事・委託																																			
	(1) 殿ノ前住宅1号棟屋上防水工事																																			
	(2) 殿ノ前住宅水道メーター更新工事（集中検針盤更新含む）																																			
	(3) 平地住宅水道メーター更新工事																																			
	2 施設維持管理委託																																			
	消防設備点検、浄化槽保守点検、エレベーター保守点検、污水管清掃、遊具点検、樹木せん定・除草、給水設備保守点検等																																			
	3 施設整備修繕																																			
	給水装置等修繕、施設・設備老朽化による修繕(83件)、退去修繕(9戸)、退去修繕に合わせて住戸内バリアフリー化(3戸)																																			
	4 市営住宅空家募集																																			
	<table><tr><td></td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>募集回数</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td></tr><tr><td>募集戸数</td><td>16戸(20戸)</td><td>11戸(14戸)</td><td>9戸(11戸)</td><td>11戸(13戸)</td><td>9戸(11戸)</td><td>10戸(13戸)</td></tr><tr><td>応募者数</td><td>36人(60人)</td><td>19人(27人)</td><td>23人(36人)</td><td>14人(21人)</td><td>12人(18人)</td><td>26人(35人)</td></tr></table>										H30	R1	R2	R3	R4	R5	募集回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回	募集戸数	16戸(20戸)	11戸(14戸)	9戸(11戸)	11戸(13戸)	9戸(11戸)	10戸(13戸)	応募者数	36人(60人)	19人(27人)	23人(36人)	14人(21人)	12人(18人)
	H30	R1	R2	R3	R4	R5																														
募集回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回																														
募集戸数	16戸(20戸)	11戸(14戸)	9戸(11戸)	11戸(13戸)	9戸(11戸)	10戸(13戸)																														
応募者数	36人(60人)	19人(27人)	23人(36人)	14人(21人)	12人(18人)	26人(35人)																														
※カッコ内は福祉枠を含む																																				
5 その他																																				
家賃口座振替（継続）H30：164戸 R1：180戸 R2：179戸 R3：199戸 R4：191戸 R5：200戸 住宅相談対応（公営住宅入居希望等相談、入居者の要望・苦情等）																																				
事業の評価	妥当性評価	公営住宅法の定めにより、市営住宅の整備及び管理については、市が実施すべき事業です。																																		
	有効性評価	修繕を始めとした入居者からの要望等に対して迅速な対応を心掛け、適正な管理に努めたことにより、良好な住環境の形成に寄与することができました。																																		
	効率性評価	各住宅の入居者や自治会の協力により管理業務委託、修繕及び工事を効率的に実施することができました。																																		
事業費	71,058,476		左の財源内訳																																	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源																														
			9,515,000	0	36,636,176	24,907,300																														

主要事業No. 107

主要事業No. 107

174	款・項・目	8・5・2	目名称	住生活費	目の決算額	10,646,080	174		
	事務事業名称	災害に強い住宅建設推進事業							
	事業コスト(千円)	20,300	【うち人件費 9,201 うち減価償却費 349 】						
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	特に地震に不安のある民間住宅								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
	地震に強い住宅への改善が行われ、災害に強い安全な住宅地が形成されています。								
評価 指標	指標名		令和5年度実績値	／	令和5年度計画値	単位			
	耐震診断実施件数		16	／	40	件			
	耐震改修工事実施件数		4	／	15	件			
				／					
実施 内容	1 「大府市建築物耐震改修促進計画」に基づき建築物の耐震化を促進しました。								
	(1) 民間木造住宅								
	ア 無料耐震診断及び耐震改修費補助の実績（1.5、1.0、0.7は耐震診断の判定値）								
	年度	診断 件数	安全 1.5以上	一応安全 1.0以上 1.5未満	やや危険 0.7以上 1.0未満	倒壊の 危険あり 0.7未満	改修費 補助 件数	うち上乗せ 補助件数 高齢者 市内業者	
	～R2	1,500	9	98	272	1,121	331	91	51
	R3	13	1	0	0	12	9	5	8
	R4	25	0	0	0	25	3	1	2
	R5	16	0	0	0	16	4	1	3
	合計	1,554	10	98	272	1,174	347	98	64
	割合	—	0.6%	6.3%	17.5%	75.5%	—	—	
	イ 段階改修費補助及び耐震シェルター整備費補助：0件								
	(2) 民間非木造住宅 耐震診断費補助：0件 耐震改修費補助：0件								
	(3) 広報やローラー作戦による耐震診断、改修案内の実施								
			R3		R4		R5		
	広報掲載回数		1回		1回		1回		
	ローラー作戦		吉田自治区地内等 (147戸)		大府自治区地内等 (164戸)		共和東自治区地内等 (143戸)		
	無料相談会		1回(3組)		1回(1組)		1回(2組)		
	(4) ブロック塀等 除却費等補助：14件								
	(5) 耐震性のない木造住宅解体 解体費補助：4件（市内業者利用：0件）								
	(6) 瓦屋根（耐風対策） 診断補助：1件 改修補助：1件（市内業者利用：1件）								
	(7) 研修会参加等による体制づくり 研修会等：1回								
	2 「大府市住生活基本計画」に基づき、三世代住宅の工事費に対して補助を行いました。								
	三世代住宅支援事業費補助 交付申請：5件（市内業者利用：1件） 認定申請：4件								
事業の 評価	妥当性評価	建築物の耐震改修の促進に関する法律により、各公共団体が計画的に耐震化を進める必要があると定められており、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	木造住宅の無料耐震診断や耐震改修費補助を実施することにより、既存住宅を安心して安全に有効利用できるようになりました。							
	効率性評価	ローラー作戦等を効率的に実施することができました。地元建築士の協力を要請することにより、無料相談会を開催できました。							
事業費	10,646,080		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			6,162,800	0	0	4,483,280			